

IMFの新体制

第32回IMF世界大会は第1日目
5月25日の午後、IMF新役員の出
出を行った。

これに先立ち、IMF副会長と
人または複数のIMF書記次長を
挙で選出できるようになるIMF規
約変更案について提案し、満場一致
でこれを採択した。

IMF役員選挙の議事に入り、
IMF規約改定を受けて、IMF執行
委員会を確認された役員立候補案に
ついて提案、向こう4年間の新しい



マレンタッキ前書記長からライナ新書記長(左)へ
バトンタッチ

IMF四役指導部と執行委員、会計
監査委員を選出した。マルチェロ・
マレンタッキIMF書記長は就任20
年を迎え、今回のIMF世界大会で
退任した。また、ユルゲン・ペーター
ス現IMF会長も今回の大会で退任
した。これを受けて、世界大会本会
議初日、IMF新役員選挙が行わ
れた結果、ベオフォルト・フーパー
会長、ユルキ・ライナー書記長をは
じめとする新役員が満場一致で選出
された。

IMF 役員 (2009 - 2013 年)

IMF会長	ベオトルト・フーパー [ドイツ・IGメタル (ドイツ金属労組) 会長]
IMF副会長	R・トーマス・バッフェンバーガー [米国・IAM (全米機械工労組) 会長]
IMF書記長	ユルキ・ライナ (北欧産業労連)
IMF書記次長	鎌田普 (日本・IMF-JC)
IMF書記次長	フェルナンド・ロペス (ブラジル)

IMF 執行委員

地域名	氏名	国名：組織名
アジア太平洋	西原浩一郎	日本：IMF-JC議長
	ジュリアス・ロー	オーストラリア：AMWU
	S・サンジーヴァ・レディ (2009年5月-2011年5月)	インド：INMF
	サンジャイ・S・ヴァダヴカール (2011年6月-2013年5月) アグニ・ダマヤンティ (女性)	インド：SMWF I インドネシア：FSPMI
アフリカ	イルヴィン・ジム	南アフリカ：NUMSA
	セリーナ・ティクウェ (女性)	南アフリカ：NUMSA
	マエロ・ティンディ	ケニヤ：AUKM
	タハール・ベルベリ	チュニジア：FGME-UGTT

(以下、次ページへ続く)

地域名	氏名	国名：組織名
ラテン・アメリカ ＝カリブ海	ナポレオン・ゴメス モニカ・デ・オリヴェイラ・ロウレンソ・ヴェロゾ（女性） ノオーラ・エステラ・トバル（2009年5月～2011年5月） ヴァルター・サンチェス（2011年11月～2013年5月） ルイス・ガルシア・オルティス（2009年5月～2010年5月） ヘクトル・ラプラス（2010年11月～2011年11月） フランシスコ・グティエレス（2012年5月～2013年5月）	メキシコ：SNTMMS ブラジル：CNTM コロンビア：FETRAMECOL ブラジル：CNM/CUT アルゼンチン：ASIMRA アルゼンチン：AOMA アルゼンチン：UOM
北米	キャロル・ランドレー（女性） レオ・ジェラード R・トーマス・バッフエンバーガー ロン・ゲッテルフィンガー	カナダ：USW アメリカ：USW アメリカ：IAM アメリカ：UAW
西欧	ベルトルト・フーバー ジュゼッペ・ファリナ ブランディーヌ・ランダ（女性） ハビエル・ウブリナ デレク・シンプソン ステファン・ロフヴェン	ドイツ：IGメタル イタリア：FLM フランス：FGMM - CFDT スペイン：MCA - UGT イギリス：IMFイギリス支部 スウェーデン：IFメタル
中・東欧	ミハイル・タラセンコ マーレ・アンチェヴァ ヨセフ・ストレドゥーラ	ロシア：MMWU マケドニア：SIER チェコ：OS KOVO

IMF 監査委員

ルーネ・ホグナス
ヴェルナー・フンク
オーウェン・ヘルンシュタット
エアリッヒ・バッハ

スウェーデン：IFメタル
スイス：UNIA
アメリカ：USA
ドイツ：IGメタル

ライナ IMF 新書記長の就任挨拶

モットーは“開放性、民主主義、全員参加”

私のリーダーシップ・スタイルは、IMFファミリー全体の開放性と民主主義、協議および関与に基づいています。

IMFは1つの方針書、すなわち大会代議員がこのIMF世界大会で討議・採択するIMFアクション・プログラム2009-2013を指針としていきます。

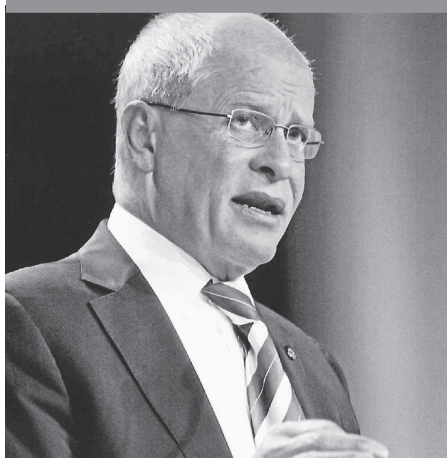
IMFは行動を強化し、強力な組合を構築し、未組織労働者を組織化し、革新的なキャンペーンによって労働者の諸権利を守り、平等とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を促進しなければなりません。

現在の世界に広がる経済危機については、労働組合が変革に参画して持続可能な未来に歩みを進める必要があります。対策の1つとして不安定雇用に対抗する効果的かつ包括的



なグローバル・キャンペーンを実施すべきだと考えています。

今後のIMFの活動においては、地域バランスを維持し、世界中の加盟組織に積極的に情報を提供してIMFの活動に関与していくようにしたいと思います。



ベルトルト・フーバー IMF 新会長

フーバー会長略歴

1950年2月15日、ウルム/ドナウ生まれ
 1969年 ウルム/ドナウのフンボルト中等学校で中等教育修了
 1970年 兵役に代わる公益活動に従事
 1971年 IGメタル組合員となる
 1971年 工具修理工になるための実習を経てウルムのケスポーラー社(現エボバス)に入社
 1978年 ケスポーラー従業員代表委員会/一般従業員代表委員会委員長
 1985年 フランクフルト大学で歴史学・哲学を学ぶ
 1990年 IGメタル東ドイツ担当専従役員
 1991-1993年 会長(フランツ・シュタインキュラー) 室事務局長
 1993-1998年 副会長(ワルター・リースター) 室調整官
 1998-2003年 バーデン・ビュルテンベルク地域役員
 2003-2007年 IGメタル副会長
 2007年11月- IGメタル会長

監査委員会での職務:

アウディ(インゴルシュタット) 副委員長

シーメンス(ミュンヘン)

所属政党は、ドイツ社会民主党

新会長に聞く

Q1. 労働組合運動にかかわるようになった経緯は?

どうすれば不平等を克服し、人々がどんどん自由になれるよう手助けできるか——これは多くの人たちが組合加入前に自問する問題であり、私もそうでした。ドイツ南部の伝統的なバス製造会社で職場委員になったとき、私はとても若かった。その後、哲学を学んだのちIGメタルに入りました。

Q2. 現在の危機をどう考えているか、それを克服する方法は?

この危機を克服できる明らかな救済策を私は今持ち合わせていません。しかし、金融市場主導の資本主義が世界の経済を奈落の底に突き落とし、多くの人々が悲惨な状況に

あることは分かっています。世界は方向転換を必要としていると思います。経済に対する責任の拡大、労働者の共同決定の促進、人々が経済のためにあるのではなく、

Q3. あなたにとって不安定雇用とは何ですか?

不安定雇用は現代版の搾取であり、人間を、人生観を、生活保障を否定します。不安定雇用は、私たちを危機に追い込んだ資本主義の1つの兆候だと言えます。すべての国家が不安定雇用の規制を求められています。最低賃金、良好な労働条件、参加の権利は基本的な条件です。良好な労働条件に基づくディーセント・ワークは人権であるのみならず、経済的にも合理的であると思います。

ユルキ・ライナ IMF 新書記長

ライナ書記長略歴

1960年6月28日ヘルシンキ(フィンランド)生まれ
 1976-85年 新聞配達、大工手伝い、研究所アシスタント、郵便作業員、トレーナー、ジャーナリスト、法廷アシスタントなどに従事
 ヘルシンキ大学に通学。1985年法学修士取得。政治学、政治史、経済学、経営学、ジャーナリズム、社会学を学ぶ
 学生社会民主協会(Students' Social Democratic Association) 副会長兼会計を務める
 1985-91年 フィンランド化学労働組合 組合弁護士および団体交渉責任者
 1991-94年 国際化学/エネルギー労働組合連盟(ICEF)(ブリュッセル) 調査員
 1995-99年 国際化学/エネルギー/鉱山労働組合連盟(ICEF)(ブリュッセル) エネルギー部門責任者
 2000-01年 国際化学/エネルギー/鉱山労働組合連盟(ICEF)(ブリュッセル) 組織化部長
 2001-03年 フィンランド産業労働組合(ヘルシンキ)労働組合コンサルタント
 2003-05年 ノルディック・メタル(スウェーデン、ストックホルム) 書記長
 2006-09年 ノルディック IN(ストックホルム) 書記長

